

電動ウインチ 12V 最大牽引能力 1800kg 取扱説明書

【品番】 DC12V-2

この度は、KIKAIYA「電動ウインチ 12V 最大牽引能力 1800kg」を
ご購入いただき誠にありがとうございます。

- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく安全にご使用ください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3
(MAIL) info@kikaiya.com

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください。

■仕様

最大牽引能力	永久磁石	減速比	ワイヤー	ドラムサイズ	本体重量
1800kg	0.9Kw／1.1Hp 12V	128.2:1	φ6mm×13.5m	φ45mm×82mm	13kg

【能力表】

牽引力	巻き取りスピード(m/分)	モーターアンペア
0kg	6.7	26
227kg	5.85	35
454kg	5.3	70
680kg	4.3	98
907kg	3.45	107
1134kg	2.75	129
1361kg	2.2	138
1800kg	1.75	205

【牽引力】

牽引力	ワイヤードラム巻き量
1800kg	3.5 m
1278kg	5.1 m
1167kg	8.0 m
1072kg	11.2 m
896kg	14.5 m

※牽引力はドラムに巻いたワイヤーの巻き数により大きく変化します。

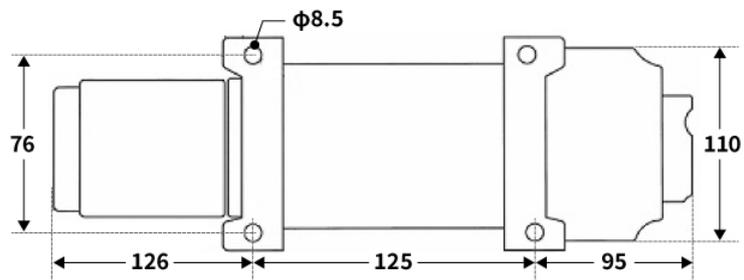
※最大牽引はドラムにワイヤーが殆ど無い時のみ発揮されます。

※ワイヤーをドラムに巻き取っていくと牽引能力はダウンします。

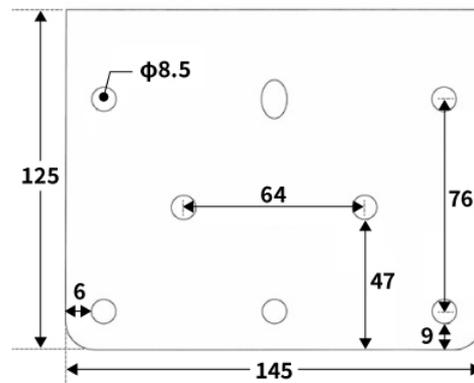
【ウインチ寸法】



本体取り付け穴寸法



マウント用プレート 穴サイズ



■ 注意事項

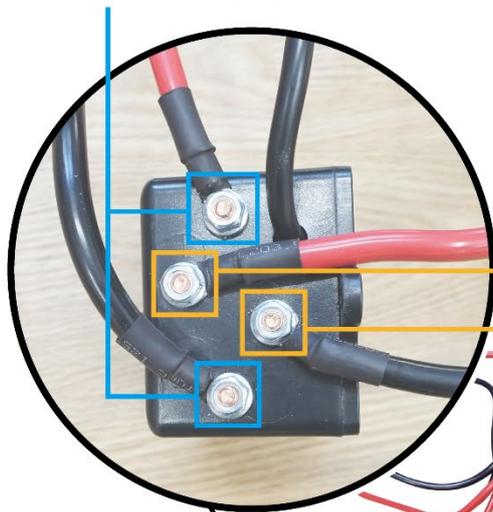
- このウインチは引く作業専用です。物の吊り上げには使用しないでください。
- 人をのせた状態でウインチを操作して吊り上げたり引いたりしないでください。
- このウインチに能力以上の荷重をかけないでください。それ以上の荷重の場合はオプションのプーリーブロックを使用してダブルラインで作業してください。
- 重い荷重をかけて連続的に長く使用せず、短い時間<15 秒以内>で使用してください。平均的に負荷を加え、急激に負荷が加わるような使い方はしないでください。使用中モーターを手で触って熱くなっている場合は、使用を中止してモーターを冷ましてください。
- ドラムにワイヤーが5巻き(5回転)以上ある状態を確認してから使用してください。ワイヤーがドラムに少ない状態では使用しないでください。
- ワイヤーロープを巻き取る時は直角に巻き取ってください。斜めに巻き取るとワイヤーや本体にダメージを与えます。
- 入力電圧はDC12Vを下回らないようにしてください。
- ウインチのワイヤーを対象物に巻きつけ、フックをそのワイヤーに引っかけての使用は行わないでください。ワイヤーを傷付ける原因になります。スリングなどを使って作業してください。
- ウインチに負荷をかけて巻いている最中にももし動きが遅くなった場合、使用を中止してすべての配線やその接続箇所の接触などを点検してください。
- ウインチで作業する時は近寄らないでください。突然フックが外れたりワイヤーが切れたりして思わぬ事故が起こる可能性があります。使用中、フックの近くに重い布などをワイヤーに吊り下げると、フックが外れた時など突然フックが跳ねたり飛んでいったりするのを防ぐことができます。
- ウインチを操作する際に車を動かしたりしてウインチの巻き取りを補助しないでください。ウインチやワイヤーに負荷がかかるため破損の原因になります。
- 車に取り付けたウインチで物を引く時はギアをニュートラルにしてブレーキをかけ、全ての車輪には輪止めをかけます。エンジンは必ずアイドリングにして操作してください。エンジンがOFFの状態でもウインチを使用するとバッテリーの電圧が低下してエンジンの始動ができない可能性があります。
- ウインチを使用している最中には絶対にウインチのギアを外してドラムをフリーにしないでください。
- ワイヤーロープやフックは常に清掃して異常が無いか確認してください。ワイヤーに錆やほつれ・傷・素線切れなどがある場合は危険ですので使用しないでワイヤーを交換してから使用してください。
- 作業終了後ワイヤーをドラムに巻きつける時はワイヤー又はフックを手で持ちながらワイヤーにテンションを与えながらきれいに巻いてください。負荷をかけずにワイヤーをドラムから伸ばす時も手で引っ張りながら伸ばしてください。
- 飲酒後・薬の服用後・体調不良の際はウインチ作業を行わないでください。
- 作業する際は作業に適した衣服を着用してください。目の保護の為にゴーグル、手指保護の為に作業手袋も合わせてご着用ください。
- ウインチを改造しないでください。普段からよく点検して異常がないか確認してください。

■配線の接続

※配線の接続は下記の画像を参考にしてください。

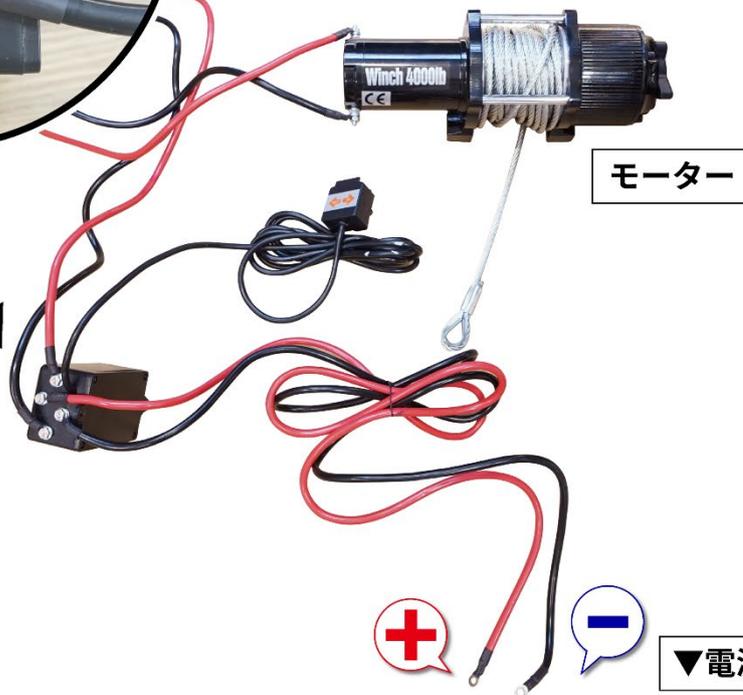
外側

モーターへ接続



内側
電源バッテリーへ
接続

コード色と同じ色の
接続部分に接続する



- ※ 端子部にはテープやゴムキャップなどで絶縁してボデーアースに接触しない様にしてください。
- ※ ウインチを使わない時はバッテリーのターミナルからコードを外すかメインスイッチを取り付けて電源を遮断してください。不意にウインチが動き出す可能性があります。
- ※ ウインチ作業する時は必ず手袋を着用してください。ワイヤードラムに手が巻き込まれない様に十分注意して作業してください。
- ※ ワイヤレスリモコンを操作する時はウインチの状況がよく確認できる位置で操作してください。ワイヤレスは動きにタイムラグが生じますのでご注意ください。

■取り付け

1. 自動車やその他の物にウインチの取り付ける時はボルトやナット、ワッシャーでしっかりと確実に固定してください。ワイヤーなどでウインチを固定しないでください。

※取り付けにセットに含まれていないサイズのボルトやナット、ワッシャーが必要な場合はお客様でご用意いただきますようお願いいたします。

2. ウインチからの電源コード2本をバッテリーの端子に直接接続してください。赤いコード(プラス)黒いコード(マイナス)を確実に接続してコントローラーを本体に接続します。
3. 接続したならば試運転します。コントローラースイッチを操作するとドラムは正転・逆転します。

■使用方法(クラッチ操作)

※クラッチ操作はモーターを回しながら行わないでください。

【ドラムフリー操作】

このウインチは直流 DC12V 専用のモーターを使用して自動車やボートトレーラーなどに取り付けて使います。横のクラッチノブを手で回す事<反時計回り>でドラムがフリーになりモーターを回さなくてもワイヤーを伸ばせる構造になっています。

【クラッチ ON】

ワイヤーを巻き取りする場合はクラッチを ON にします。<時計回り>にノブをまわしてノブが止まる所までいっぱいに回してください。ノブは途中で止めないでください。

クラッチを ON にしてモーターを回す前にワイヤーを手で引っ張るとギアが噛み合います。確実に噛み合った事を確認してからモーターを動かしてください。

【注意】

クラッチ操作は確実に行ってください。

半クラッチ状態で使用すると内部のギアが破損する恐れがあります。

■使用方法

1. 本体横のクラッチノブを反時計回りに回すとクラッチが OFF になります。
するとドラムはフリーになりワイヤーを手で引き出します。
2. ワイヤーを引き出す時はフックのストラップを手で掴んで引っ張ってください。
ワイヤーは最大引き出した状態でワイヤーがドラムに5回転以上巻いている事を確認してください。
ワイヤーはドラムの端からキレイに巻いてください。
3. クラッチノブはウインチを動かしている時には操作しないでください。
4. 作業が終了したらワイヤーとコントロールケーブルをキレイに巻き取ってください。

■メンテナンス

- 日常的にウインチに付いた汚れやほこりを取り除いてください。
- 取り付けボルトや配線接続箇所のネジなどに緩みがないか点検してください。
- ウインチのギアボックスは分解しないでください。
- ギアボックスには工場であらかじめグリスを注入しています。ギアボックスにグリスを注入する必要はありません。

■ワイヤーの交換

1. ワイヤーをドラムから全て取り出し、クラッチを ON にします。
2. ワイヤーの端をドラムに差込み固定ネジを締め込み、確実にワイヤーを固定してください。
3. コントローラーを操作しながらワイヤーをキレイに巻き取ってください。

■トラブルシューティング

症状	原因	処置
モーターが動かない 又は一方しか回らない	スイッチの不良	スイッチを修理する
	配線の断線・接触不良	全ての配線を点検する
	モーターの故障	モーターを修理する
モーターは回るが ドラムは回転しない	クラッチが繋がっていない	クラッチを ON にする
モーターは回るが スピードと力が 不足している	バッテリーが弱い	バッテリーを交換又は充電する バッテリーの接続端子の締め付けや 接触箇所を清掃する
	モーターの不良	モーターを修理する
モーターが熱くなった	ウインチの可動時間が長すぎる	モーターを止めて冷ましてから使う
	モーターの不良	モーターを修理する